

カジカエデ	<i>Acer diabolicum</i> Blume ex K.Koch	絶滅危惧Ⅱ類
		カエデ科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が少ない。	写真(高橋弘)
形態の特徴	葉は掌状に普通5裂し、裂片の縁に粗い鋸歯がある。雌雄異株。葉が展開する前に下垂して暗紅色の花をつける散房花序を出す。直ぐに葉も出てくるので、花序だけの状態が長く続くことはない。果実の翼はほとんど開かない。	
生態的特徴	冷温帯の林内に生育する。花期は4-5月。	
分布状況	日本固有で、本州、四国、九州に分布する。岐阜県では県南の中部と西部に少しある。標高は1000m以下。	
減少要因	開発などによる生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘